

学校 教室等の環境衛生検査報告書

学校薬剤師名

印

検査日時 平成 年 月 日 (曜日) ~

天 候 _____

測定場所 検査項目	校舎 階		校舎 階		校舎 階		校舎 階		判定基準	
	在室人数	人	在室人数	人	在室人数	人	在室人数	人		
時刻	時	分	時	分	時	分	時	分		
扉	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉			
窓	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉			
浮遊粉じん	mg/m ³		mg/m ³		mg/m ³		mg/m ³		0.10mg/m ³ 以下	
気流	m/秒		m/秒		m/秒		m/秒		0.5m/秒以下	
一酸化炭素	ppm		ppm		ppm		ppm		10ppm以下	
二酸化窒素	ppm		ppm		ppm		ppm		0.06ppm以下	
ホルムアルデヒド	μg/m ³		μg/m ³		μg/m ³		μg/m ³		100μg/m ³ 以下	
①	時刻	時	分	時	分	時	分	時	分	
	扉	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉		
	窓	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉		
	二酸化炭素	ppm		ppm		ppm		ppm		1500ppm以下
	温度	℃		℃		℃		℃		10℃以上、30℃以下
	相対湿度	%		%		%		%		30%以上、80%以下
②	時刻	時	分	時	分	時	分	時	分	
	扉	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉		
	窓	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉		
	二酸化炭素	ppm		ppm		ppm		ppm		1500ppm以下
	温度	℃		℃		℃		℃		10℃以上、30℃以下
	相対湿度	%		%		%		%		30%以上、80%以下
③	時刻	時	分	時	分	時	分	時	分	
	扉	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉		
	窓	開・閉		開・閉		開・閉		開・閉		
	二酸化炭素	ppm		ppm		ppm		ppm		1500ppm以下
	温度	℃		℃		℃		℃		10℃以上、30℃以下
	相対湿度	%		%		%		%		30%以上、80%以下

所見

学校環境衛生検査票

(換気及び保温等)

学 校 名		天 候	
学校担当職員氏名		学校薬剤師名	
検 査 日 時	平成 年 月 日 () 午前・午後 時 分		
教 室 名	(棟 階)	(棟 階)	基準値
教室容積	m^3 (縦 m × 横 m × 高さ m)	m^3 (縦 m × 横 m × 高さ m)	<ul style="list-style-type: none"> ・換気 二酸化炭素は1500ppm以下であることが望ましい ・温度 10℃以上、30℃以下であることが望ましい ・相対湿度 30%以上、80%以下であることが望ましい ・浮遊粉じん 0.1mg/m³以下であること ・気流 0.5m/秒以下であることが望ましい ・一酸化炭素 10ppm以下であること
在室人員	人 (児童生徒 人、教職員・検査員 人)	人 (児童生徒 人、教職員・検査員 人)	
授業内容			
暖房機	形式:	形式:	
	稼働状況 (有・無)	稼働状況 (有・無)	
測定時の窓等の状況	窓(廊下側):	窓(廊下側):	
	窓(外気側):	窓(外気側):	
	天窗(廊下側):	天窗(廊下側):	
	天窗(外気側):	天窗(外気側):	
換気回数:	回	(換気回数: 回	
測定前の換気状況			
時間 項目	時 分 ~ 時 分	時 分 ~ 時 分	外 気
*乾球温度	℃	℃	℃
湿球温度	℃	℃	℃
相対湿度	%	%	%
二酸化炭素	① ppm	① ppm	ppm
(①始業時 ②15分後 ③30分後 ④終業時)	② ppm	② ppm	(注1) ※印の項目は「学校環境衛生基準」により、人工的環境において無印の項目に併せて実施することとされている検査項目
	③ ppm	③ ppm	
	④ ppm	④ ppm	
	④ ppm	④ ppm	
※浮遊粉じん	mg/m ³	mg/m ³	
※一酸化炭素	ppm	ppm	
※気流	m/秒	m/秒	
二酸化窒素	ppm	ppm	開放型の暖房機器を使用している場合に行う
	外気 (ppm)	外気 (ppm)	
備 考			

* 乾球温度の測定結果は、教室中央で測定した結果を記入すること。

学校環境衛生検査票

(揮発性有機化合物)

学 校 名			
学校担当者職氏名			学校薬剤師氏名
検査年月日	平成 年 月 日 ()		
採取教室建物構造	1 木造 2 鉄筋コンクリート 3 鉄骨プレハブ 4 その他()		
採 取 教 室	場 所	館・棟 階	
	名 称		
	換気設備の稼働状況	有 () ・ 無	
新築・改築・改修の場合 (該当する場合のみ記入)	新築・改築・改修の別：新築・改築・改修 (○を付ける) 新築等の年月：平成 年 月 改修の場合内容：() (例：内装の張り替えなど)		
新たな備品を整備した場合 (該当する場合のみ記入)	整備物品：机・イス・コンピュータ・その他 () (○を付ける) 台数： 台 整備年月：平成 年 月		
過 去 の 検 査 結 果 (同じ教室で過去に検査を行っている場合は直近の結果を記入)	検査年月日	平成 年 月 日	
	ホルムアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
	トルエン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
換気時間 (30 分以上)	月 日 時 分～ 月 日 時 分		
閉鎖時間 (5 時間以上)	月 日 時 分～ 月 日 時 分		
検 査 方 法	パッシブ法		
採取時間・気温 (8 時間以上)	開始	月 日 時 分	気温 $^{\circ}\text{C}$
	終了	月 日 時 分	気温 $^{\circ}\text{C}$
今 回 の 検 査 結 果	検 査 機 関 名	基準値	
	ホルムアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	ト ル エ ン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	キ シ レ ン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	パラジクロロベンゼン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	エチルベンゼン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
	スチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
所 見			

学校環境衛生検査票

(揮発性有機化合物)

学 校 名					
学校担当者職氏名		学校薬剤師氏名			
検査年月日	平成 年 月 日 ()				
採取教室建物構造	1 木造 2 鉄筋コンクリート 3 鉄骨プレハブ 4 その他()				
採 取 教 室	場 所	館・棟 階			
	名 称				
	換気設備の稼働状況	有 () ・ 無			
新築・改築・改修の場合 (該当する場合のみ記入)	新築・改築・改修の別：新築・改築・改修 (○を付ける) 新築等の年月：平成 年 月 改修の場合内容：() (例：内装の張り替えなど)				
新たな備品を整備した場合 (該当する場合のみ記入)	整備物品：机・イス・コンピュータ・その他 () (○を付ける) 台数： 台 整備年月：平成 年 月				
過 去 の 検 査 結 果 (同じ教室で過去に検査を行っている場合は直近の結果を記入)	検査年月日	平成 年 月 日			
	ホルムアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$			
	トルエン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$			
換気時間 (30 分以上)	月 日 時 分～ 月 日 時 分				
閉鎖時間 (5 時間以上)	月 日 時 分～ 月 日 時 分				
検 査 方 法	アクティブ法、簡易法 ()				
採 取 ・ 気 温	午前	月 日 時 分	気温 $^{\circ}\text{C}$		
	午後	月 日 時 分	気温 $^{\circ}\text{C}$		
今 回 の 検 査 結 果	項 目	測 定 値		基 準 値	
		ホルムアルデヒド	午 前		100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
			午 後		
	結 果				
	ト ル エ ン	午 前	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下		
		午 後			
結 果					
所 見					

ダニおよびダニアレルゲン検査票

1回／年

校長	副校長	保健主事	養護教諭	学校薬剤師

学校名		調査者	
-----	--	-----	--

調査日時	平成 年 月 日()	天気		時間	時～	時
------	-------------	----	--	----	----	---

調査場所		測定器	簡易検査キット	
調査結果	(-)	(±)	(+)	(++)
事後措置				

調査場所		測定器	簡易検査キット	
調査結果	(-)	(±)	(+)	(++)
事後措置				

調査場所		測定器	簡易検査キット	
調査結果	(-)	(±)	(+)	(++)
事後措置				

調査場所		測定器	簡易検査キット	
調査結果	(-)	(±)	(+)	(++)
事後措置				

調査場所		測定器	簡易検査キット	
調査結果	(-)	(±)	(+)	(++)
事後措置				

学校環境衛生検査票

(ダニアレルゲン)

学 校 名			
学校担当者職氏名		学校薬剤師氏名	
検 査 年 月 日	平成 年 月 日		
検 査 教 室 等 名 称			
場 所	館・棟 階		
窓の開放状況(夏期)	週 日、1日平均 時間開放		
換 気 設 備	無 ・ 有 (週 日、1日 時間稼働)		
冷 房 設 備	無 ・ 有 (週 日、1日 時間稼働)		
気 温 ・ 湿 度	℃ 、 %		
検 査 対 象	寝具 ・ カーペット ・ 畳 ・ その他 ()		
掃 除 機 かけ 頻 度	回/月		
洗 濯 頻 度	回/年 (寝具、カーペット等のみ記載)		
検 査 方 法	簡易検査キット ・ その他 ()		
検 査 結 果	匹/m ² (基準：100匹/m ² 以下)		
再 検 査 結 果 ※			
所 見			

※ 再検査を行った場合に記載する。

照度測定用紙

学校名

学校薬剤師

印

測定年月日

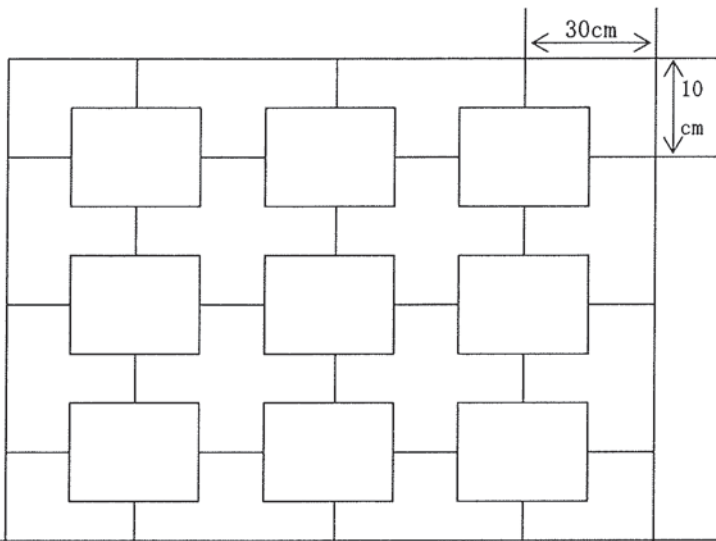
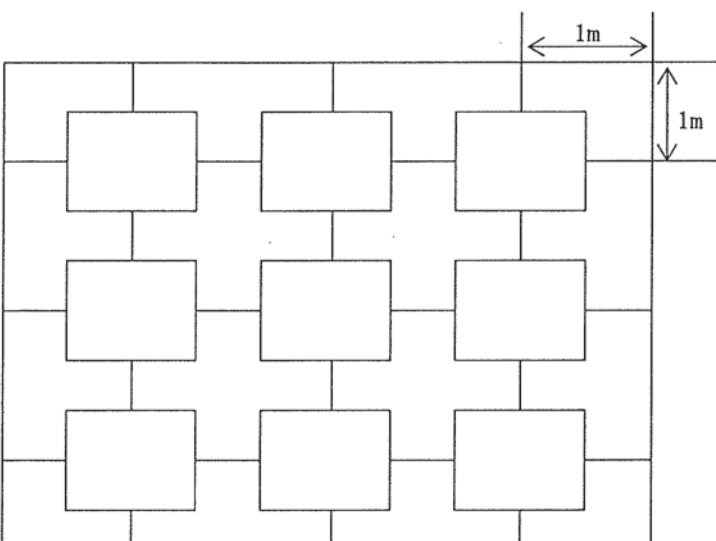
年 月 日 ()

天気

場所	校庭	教室			廊下	黒板			所見		
教室 位置									まぶしさ	破損	本
	造 棟 階	カーテン			黒板色				電灯	W	W
時間 :	最大照度:最小照度				最大照度:最小照度				本 基	本 基	
教室 位置									まぶしさ	破損	本
	造 棟 階	カーテン			黒板色				電灯	W	W
時間 :	最大照度:最小照度				最大照度:最小照度				本 基	本 基	
教室 位置									まぶしさ	破損	本
	造 棟 階	カーテン			黒板色				電灯	W	W
時間 :	最大照度:最小照度				最大照度:最小照度				本 基	本 基	
教室 位置									まぶしさ	破損	本
	造 棟 階	カーテン			黒板色				電灯	W	W
時間 :	最大照度:最小照度				最大照度:最小照度				本 基	本 基	
所見											
判定基準	<p>(ア) 教室及びそれに準じる場所の照度の下限値は、300lx(ルクス)とする。 また、教室及び黒板の照度は、500lx以上であることが望ましい。</p> <p>(イ) 教室及び黒板のそれぞれの最大照度と最小照度の比は、20:1をこえないこと。 また、10:1を超えないことが望ましい。</p> <p>(ウ) コンピューター教室等の机上の照度は、500~1000lx程度が望ましい。</p> <p>(エ) テレビやコンピューター等の画面の垂直面照度は、100~500lx程度が望ましい。</p>										

学校環境衛生検査票

(照 度 ・ まぶしさ)

学 校 名					
学校担当者職氏名			学校薬剤師氏名		
検 査 日 時	平成 年 月 日 ()	午前・午後	時 分	天 候	
教 室 名	(棟 階)	人工照明	(無 ・ 有)	W × 灯 = W)	
照明器具の汚れ	有 ・ 無	最近の清掃日	平成 年 月 日		
カ ー テ ン	無 ・ 有 (ア 全開 イ 一部開 ウ 全閉)				
検 査 場 所	検 査 結 果			判 定 基 準	
黒 板 (垂直面照度 を測定)				<p>300 ルクス以上 であること。 500 ルクス以上 であることが望ま しい。 最大照度と最小 照度の比は20:1を 超えないこと。 10:1 を超えないこ とが望ましい。</p>	
	最大照度	ルクス	最小照度	ルクス	最大・最小の比 : 1
	まぶしさ	黒板の外側 15° 以内の範囲に輝きの強い光源の有無			有 ・ 無
教 室 (机上で水平照度 を測定)				<p>300 ルクス以上 であること。 500 ルクス以上 であることが望ま しい。 最大照度と最小 照度の比は20:1を 超えないこと。 10:1 を超えないこ とが望ましい。 コンピュータ教 室等の机上の照度 は 500~1000 ルク ス程度が望まし い。</p>	
	最大照度	ルクス	最小照度	ルクス	最大・最小の比 : 1
	まぶしさ	見え方を妨害するような光沢、窓、電灯の映り込み			有 ・ 無
所 見					

学校環境衛生検査表 (騒音レベル)

学校名		天 候			
学校担当職員氏名		学校薬剤師名			
検査日時	平成 年 月 日 ()	午前・午後 時 分	気 温		
1. 騒音環境					
検 査 項 目	結 果	主な騒音源	備 考		
校内騒音の有無	有 ・ 無				
学校周辺からの騒音の有無	有 ・ 無				
2. 等価騒音レベル (L_{Aeq})					
教室名	(棟 階)				
騒音計	型 式 ()	メーカー名 ()			
検査日時	平成 年 月 日 ()	午前・午後 時 分 ~	時 分		
基準値	<窓等閉鎖 L _{Aeq} 50dB 以下>		<窓等開放 L _{Aeq} 55dB 以下>		
測定場所		測定値	判 定	測定値	判 定
	A	d B	適 ・ 不適	d B	適 ・ 不適
	B	d B	適 ・ 不適	d B	適 ・ 不適
	C	d B	適 ・ 不適	d B	適 ・ 不適
指導・助言等					

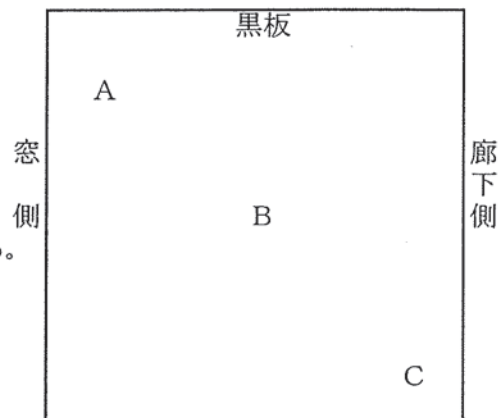
基準及び事後措置

1. 教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときは L_{Aeq} 50 dB 以下、窓を開けているときは L_{Aeq} 55 dB 以下であることが望ましい。
2. 判定基準を超える場合は適当な方法によって、音を遮る措置をとるように指導すること。

測定上の注意

1. 児童生徒がいない状態で測定する。
2. A特性で5分間の等価騒音レベル (L_{Aeq}) を測定する。
3. A及びCの2地点での測定でも可とする。
4. 著しく基準値を下回る場合、次回からの検査を省略できる。
 - ・窓を閉じているときはL_{Aeq}45 dB以下
 - ・窓を開けているときはL_{Aeq}50 dB以下

<測定場所>



飲料水に関する施設・設備 水道水の場合;1回/年
井戸水等の場合;2回/年
雑用水に関する施設・設備;2回/年

飲料水等の施設・設備点検票

学校名

実施日:平成 年 月 日() 学校薬剤師

印

飲料水に関する施設・設備		判定	備考
(1)給水源の種類 (該当に○)	上水道・簡易水道・専用水道・簡易専用水道・井戸・その他()		
(2)配管、給水栓、給水ポンプ、貯水槽及び浄化設備等の給水施設・設備は、外部からの汚染を受けないように管理され、機能は適切に維持されているか。		適・不適	
(3)給水栓は吐水口空間が確保されているか。		適・不適	
(4)井戸その他を給水源とする場合は、汚水等が浸透、流入せず、雨水又は異物等が入らないように適切に管理されているか。		適・不適	
(5)故障、破損、老朽又は漏水等の箇所がないか。		適・不適	
(6)塩素消毒設備又は浄化設備を設置している場合は、その機能が適切に維持されているか。		適・不適	
(7)貯水槽の清掃は、定期的に行われているか。		適・不適	

雑用水に関する施設・設備		判定	備考
(1)水管には、雨水等雑用水であることを表示しているか。		適・不適	
(2)水栓を設ける場合は、誤飲防止の構造が維持され、飲用不可である旨表示しているか。		適・不適	
(3)飲料水による補給を行う場合は、逆流防止の構造が維持されているか。		適・不適	
(4)貯水槽は、破損等により外部からの汚染を受けず、その内部は清潔であるか。		適・不適	
(5)水管は漏水等の異常がないか。		適・不適	

所見

※担当の学校が該当する部分のみ、点検を行って下さい。

学校環境衛生検査表

(学校の清潔)

学校名			
検査日時	平成 年 月 日 () 午前・午後		
天候		温度・湿度	℃、 %
学校担当職員氏名	学校薬剤師氏名		
(1) 大掃除の実施			
検査項目	第1回 (月 日)	第2回 (月 日)	第3回 (月 日)
記録の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
大掃除の箇所	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
清掃用具	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
清潔方法	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
業者等に委託した場合の記録	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
備考			
(2) 雨水の排水等 (月 日)			
検査箇所	判定	判定基準	備考
屋上等の雨水排水溝	有 ・ 無	溝に、泥や砂等が堆積していないこと。 また、雨水配水管の末端は、砂や泥等により管径が縮小していないこと。	
雨水配水管末端	適 ・ 不適		
	適 ・ 不適		
	適 ・ 不適		
	適 ・ 不適		
	適 ・ 不適		
(3) 排水の施設・設備 (月 日)			
検査箇所	判定	判定基準	備考
汚水槽	適 ・ 不適	汚水槽、雑排水槽等の施設・設備からの排水状況を調べる	
雑排水槽	適 ・ 不適		
プール等の排水	適 ・ 不適		
水飲み・洗口・手洗い・足洗い場	適 ・ 不適		
給食室の排水	適 ・ 不適		
給食施設等の排水	適 ・ 不適		
その他排水の施設 ()	適 ・ 不適		
指導助言・事後措置			

学校環境衛生検査表

(黒板面の色彩)

学校名			
検査日時	平成	年	月 日 () AM・PM 時 分～ 時 分
天候		温度・湿度	℃ %
学校担当職員氏名		学校薬剤師氏名	
検査項目	判定等		
設置年(経過年数)	年 (年経過)		
最近の補修	年 月		
外観の状況	適 ・ 不適 (割れ・反り・はがれ・腫れ・さび・ピンホール・ひび・その他 ())		
黒板面のふき取り状況	適 ・ 不適		
黒板拭き	個 ・ 状態(良・ふき取り面の摩耗・破損・その他 ())		
黒板拭きクリーナー	台 ・ 状態(良・故障・清掃不良・破損・その他 ())		
<黒板面の色彩>		※ 黒板検査用色票を用いて行う。	
検査項目	判定等		判定基準
明度・彩度	適 ・ 不適		(ア) 無彩色の黒板面の色彩は、明度が3を超えないこと。 (イ) 有彩色の黒板面の色彩は、明度及び彩度が4を超えないこと。
色相 ()			
明度/彩度	明度/彩度	明度/彩度	
/	/	/	
/	/	/	
黒板面の摩耗の程度	適 ・ 不適		
指導助言・事後措置等			

学校環境衛生検査票

(水泳プール(施設・設備))

学 校 名						
学校担当者職氏名				学校薬剤師氏名		
検 査 年 月 日	平成 年 月 日 () 午前・午後					
循 環 ろ 過 の 状 況	プール の容量	m ³	ろ過 能力	m ³ /時	運 転 時間	時間/日
ろ 材 の 種 類	1 砂 2 けいそう土 3 カートリッジ 4 その他()					
循 環 水 量 計	有 ・ 無		補 給 水 量 計	有 ・ 無		
腰 洗 槽	無 ・ 有 (使用 ・ 未使用)		薬 品 保 管 設 備	無 ・ 有 (専用 ・ 兼用)		
施 設 ・ 設 備 等					管 理 状 況 等	
プール・プールサイドの衛生、安全性					a	b c
プール施設の清掃年月日：平成 年 月 日実施						
排水口・循環水の取り入れ口の安全性：平成 年 月 日確認 (ネジ・ボルト等で固定された堅固な格子鉄蓋・金網は二重であること)					a	b c
シャワー・足洗い場の衛生、安全性					a	b c
腰洗槽の衛生、安全性					非該当	a b c
洗眼、洗面、うがい施設の衛生、安全性					a	b c
便所の管理状況					a	b c
更衣室の管理状況					a	b c
薬品保管庫の管理状況					a	b c
救命具の整備状況					a	b c
救急薬品の整備状況					a	b c
浄化設備及びその管理状況 (県プール条例ではプール本体及び循環系統内の水の全容量を1日の運転時間当たり4回 以上循環させる能力を有すること)					a	b c
消毒設備及びその管理状況					a	b c
入場者の管理状況					a	b c
排水の状況(残留塩素を低濃度にする等の適切な処理)					a	b c
所 見						

(注) 良好：a、普通：b、要改善：c

学校環境衛生検査票

水泳プール（屋内）

学校名			学校薬剤師名			天候		
検査年月日	平成 年 月 日 ()			午前 午後	時 分			
給水源の種類	1. 上水道・簡易水道 2. 井戸 3. その他 ()							
調査時の状況	気温 ℃		水温 ℃		遊泳人員 人			
換水後日数	日		消毒剤名					
排水口及び循環水の取り入れ口の管理状況				1. 良		2. 不良		
日常点検の結果及びその記録の保管状況				1. 良		2. 不良		
検査項目	検査結果				判定基準			
遊離残留塩素	mg/L				0.4mg/L以上 1.0mg/L以下が望ましい			
二酸化炭素	ppm				1500ppm以下であることが望ましい			
塩素ガス	ppm				0.5ppm以下であることが望ましい			
照 度	A			ルクス		プール水平面で200ルクス以上であることが望ましい		
	B			ルクス				
	C			ルクス				
所 見								

水質検査【日常】記録表（給水栓・雑用水）

【 年度 月】 採水場所（ ） /：異常なし

期日	色	濁り	臭気	味・泡立	残留塩素	期日	色	濁り	臭気	味・泡立	残留塩素
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
日（ ）						日（ ）					
〔特記事項〕											
基準等	飲料水 【毎授業日】	遊離残留塩素・・・0.1mg/L以上保持 外観（色、濁り）・・・無色透明であること 臭気、味・・・異常でないこと									
	雑用水 【毎授業日】	遊離残留塩素・・・0.1mg/L以上保持 外観・・・色、濁り、泡立ちの程度（不快でないこと） 臭気・・・塩素臭以外の臭覚を調べる（異常でないこと）									

平成 年度環境衛生調査

_____ 学校 検査年月日 年 月 日

学校薬剤師 ㊟
立会教諭 ㊟

①飲料水検査

色	
透 明 度	
味	
臭 気	
残留塩素濃度(0.1 mg/l以上)	
日常衛生点検	
記 録 簿	

※記録簿は3年間保存のこと
指導、助言

②保健室内医薬品調査

薬 品 庫 の 鍵	
薬 品 管 理 簿	
毒 劇 薬 の 有 無	
薬 品 の 表 示	
清 掃 状 況	

指導、助言

理 科 室 薬 品 調 査 表

学 校 名		校 長 名	
調 査 日	年 月 日	理 科 室 錠 保 管 者	
生 徒 数		薬 品 管 理 責 任 者	
学校薬剤師名		㊦ 毒物劇物取扱主任	

理 科 室 の 広 さ	m ²	準 備 室 の 広 さ	m ²
理 科 室 出 入 口 の 施 錠	有・無	薬 品 戸 棚 の 施 錠	有・無
薬 品 貯 蔵 用 冷 蔵 庫	有・無	床 下 薬 品 貯 蔵 庫	有・無
毒 物 劇 物 施 錠 戸 棚	有・無	毒 物 劇 物 の 容 器 の 表 示	有・無
毒 物 劇 物 の 保 管 庫 の 表 示	有・無	黄 燐	有・無
金 属 ナ ト リ ウ ム	有・無		
強 アルカリ薬品	有・無	有るならば薬品名	
強 酸 薬 品	有・無	有るならば薬品名	
酸・アルカリは分離保管されているか		いる	いない
揮 発 性 ・ 引 火 性 薬 品	有・無	有るならば薬品名 その保管法	
保 管 庫 の 構 造	木製・スチール・コンクリート・その他		
薬 品 庫 は 腐 食 さ れ て い な い か		いる	いない
薬品庫・薬品戸棚は地震対策として固定されているか		いる	いない
台帳管理状況	<input type="checkbox"/> 使用の都度記入 <input type="checkbox"/> 学期に1回在庫点検 <input type="checkbox"/> 月に1回在庫点検		
指導・助言			

学校薬剤師執務記録簿

校 長		教 頭		保 健 主 事		係		学校薬剤師	
--------	--	--------	--	------------------	--	---	--	-------	--

執務日	平成 年 月 日 ()	午前 午後	時 分 ~ 時 分
執務者氏名		天候	認印

執務科目 (該当欄、番号等を○で囲む)

<環境衛生検査>

I 教室等の環境		
1	換気及び保温等	温度、相対湿度、CO、換気(CO ₂)、粉じん、気流、NO ₂
	揮発性有機化合物	ホルムアルデヒド、トルエン等
	ダニ又はダニアレルゲン	ダニアレルゲン等
2	採光及び照明	照度・まぶしさ
3	騒音	騒音レベル

<研修会等>

1. 学校薬剤師講習会
2. 学校保健研究大会
()
3. その他
()

II 飲料水等の水質及び施設・設備

1	飲料水の水質	大腸菌、一般細菌、塩化物イオン、TOC、pH、臭気、色度、濁度、遊離残留塩素
	飲料水の施設・設備	維持管理状況等
2	雑用水の水質	pH、臭気、外観、大腸菌
	雑用水の施設・設備	

<他>

1. 学校保健委員会
(出席・指導)
2. 薬物乱用防教室等
(出席・講師)
3. 「薬のお話」等
年生 (組) 名
()
4. その他
()

III 学校の清潔・ネズミ・衛生害虫等及び教室等の備品の管理

1	大掃除の実施	清掃状況/記録の確認
2	雨水の排水溝等	排水状況・記録の確認
3	排水の施設・設備	排水状況・記録の確認
4	ネズミ・衛生害虫等	生息・活動の有無
5	机・イスの高さ	適合状況
6	黒板面の色彩	明度・色彩・彩度

<臨時検査>

【内容等】

IV 水泳プール

1	プールの水質	遊離残留塩素・pH・大腸菌・一般細菌・有機物、点検記録の確認
	施設・設備の衛生状態	プール本体の衛生状況等、浄化設備・消毒設備及びその管理状況
3	屋内プール	CO ₂ 、塩素ガス、水平照度

<その他>

V 学校給食

1	学校給食の衛生管理	施設、設備、衛生管理(1~7票)
2	センター方式	配膳室等の衛生管理

VI 医薬品、毒物・劇物等の管理

1	管理状況	危害防止規定に則った管理
---	------	--------------

執務内容及び所見

添付資料 (有 ・ 無)